

ミヤマウド

Aralia glabra Matsum.

ウコギ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

県内における生育地が限られ、個体数も少ない。(現況:RO)

形態

草本。草丈80～100cm。ウドにやや似ているが、茎は細長く、株全体に毛が少ない。葉は2～3回3出羽状複葉で、小葉には疎らな毛があり、葉柄は紅紫色である。散形花序が集合した疎らな円錐花序をつけるが、花序の側枝が長いいためやや散房状に見える。主軸および側枝の散形花序の小花数は普通20個前後。小花の基部の関節付近は無毛。花は緑紫色。液果は球形で黒紫色。

国内分布

本州(関東・中部地方の標高1000mくらいの高所)。

県内分布

白山高地区。

生態など

多年生。花期は6～9月。食用にはしない。

生育環境

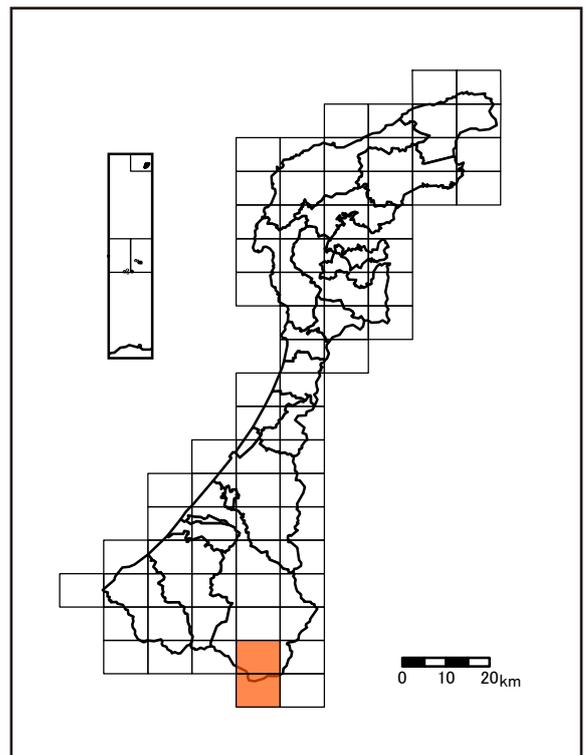
低山帯～亜高山帯の林縁・林床。

危険要因

産地局限、その他。



ミヤマウド・白井伸和・2002年7月27日



県内の分布